

VTホールディングス株式会社

(名証2部、大証JQ:7593)

2012年3月期 決算説明会

2012年5月



VT HOLDINGS

この資料に記載されている業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれているため、実際の業績が予想数値と異なる場合があることをご了承ください。

●増収増益、過去最高益

- ✓ 営業利益、経常利益、当期純利益のすべての項目で**過去最高益**

●財務体質の改善

- ✓ 自己資本は、前期末比3,740百万円増加し、15,993百万円
- ✓ 自己資本比率は、前期末比3.7%改善し、22.3%
- ✓ 実質有利子負債は、前期末比2,881百万円削減し、19,876百万円

●中間8円、期末12円、年間配当20円(前年比+5円)

- ✓ 期末配当を普通配当8円＋特別配当4円の12円とし、
すでに実施済みの中間配当8円と合わせて、年間配当金は20円

3期連続で過去最高益を更新

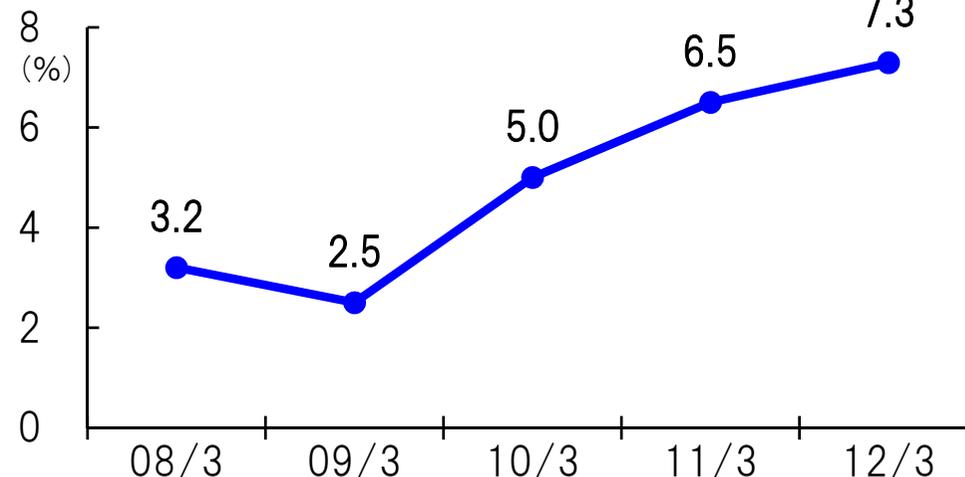
- ✓ 2011年2月、11月の南アフリカ自動車ディーラー2社のM&A(2社の売上高約21億円)に加え、エコカー補助金の再開等が寄与し、2期連続の増収

(単位:百万円)	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3	前期比
売上高	107,976	93,430	88,276	92,657	95,974	103.6%
営業利益	3,370	2,393	4,464	5,919	6,662	112.5%
経常利益	3,059	1,929	4,226	5,700	6,562	115.1%
当期純利益	1,161	△423	1,809	2,763	4,361	157.8%
1株当たり当期純利益 (EPS)	34.02円	△12.61円	53.62円	80.69円	126.93円	157.3%
自己資本当期純利益率 (ROE)	15.0%	△5.4%	21.1%	25.2%	30.9%	+5.7%

自動車セグメントが増収増益

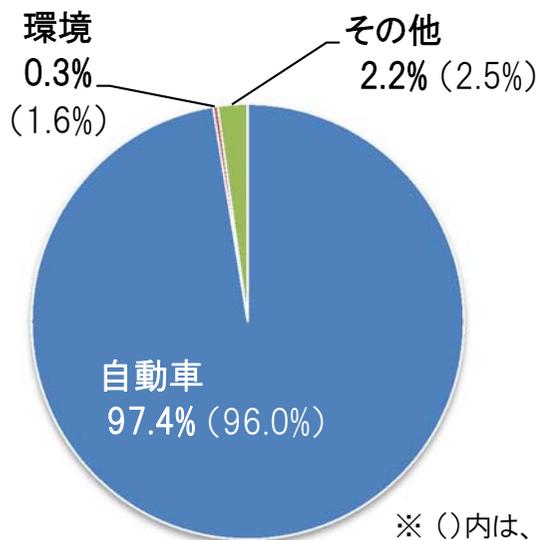
- ✓自動車セグメントの収益性は、着実な改善が進み、2012年3月期のセグメント利益率は、7.3%
- ✓2011年6月に環境関連事業の事業譲渡を実施

【自動車セグメント営業利益率】



【セグメント別売上高構成】

12/3期



※ ()内は、前年同期

(単位:百万円)

		08/3	09/3	10/3	11/3	12/3	前期比
売上高	自動車	104,910	88,853	83,681	88,914	93,510	105.2%
	環境	683	1,129	1,363	1,440	324	22.6%
	その他	2,381	3,447	3,231	2,236	2,138	92.9%
	連結	107,976	93,430	88,276	92,657	95,974	103.6%
営業利益	自動車	3,417	2,243	4,157	5,760	6,820	118.4%
	環境	44	200	287	303	37	12.4%
	その他	201	329	148	△144	△195	-
	連結	3,370	2,393	4,464	5,919	6,662	112.5%

※ 「その他」には、住宅関連事業、全社費用と調整額を含んでおります。

自動車セグメント 部門別損益

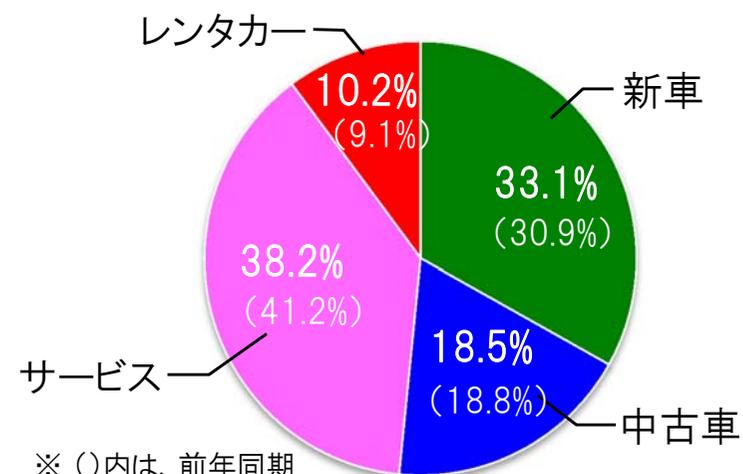
新車、中古車、レンタカー部門が増益

- ✓新車部門、中古車部門ともに粗利益率を改善
(新車+0.4% 中古車+1.5%)
- ✓レンタカー部門は、3期連続の増収増益で、着実に成長中

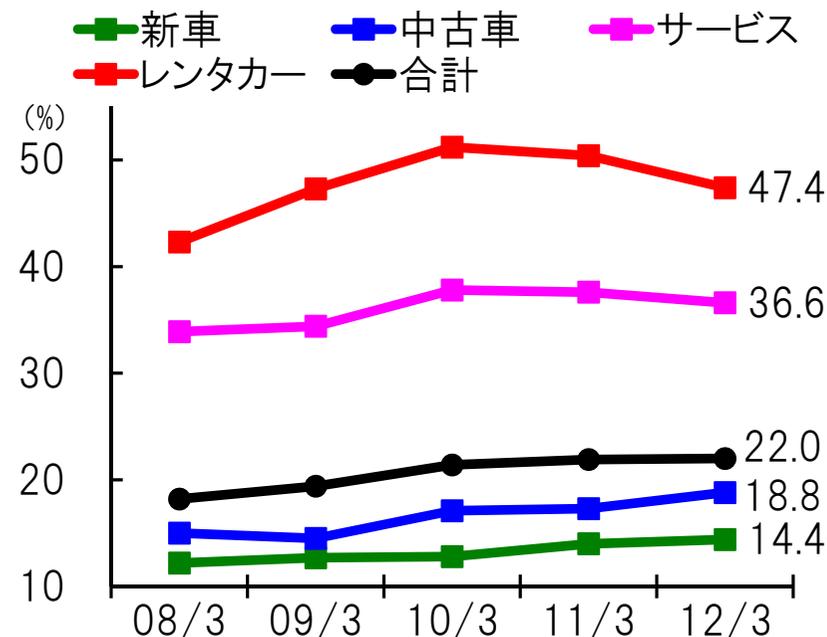
(単位:百万円)		08/3	09/3	10/3	11/3	12/3	前期比
売上高	新車	52,590	42,005	41,686	42,937	47,252	110.0%
	中古車	27,925	22,833	17,656	21,095	20,284	96.2%
	サービス	21,828	21,691	21,545	21,375	21,547	100.8%
	レンタカー	2,566	2,323	2,792	3,505	4,426	126.3%
	合計	104,910	88,853	83,681	88,914	93,510	105.2%
粗利益	新車	6,431	5,362	5,356	6,010	6,823	113.5%
	中古車	4,200	3,323	3,027	3,663	3,804	103.8%
	サービス	7,416	7,468	8,146	8,023	7,877	98.1%
	レンタカー	1,086	1,101	1,429	1,766	2,096	118.7%
	合計	19,133	17,256	17,959	19,469	20,601	105.8%
粗利率	新車	12.2%	12.8%	12.8%	14.0%	14.4%	+0.4%
	中古車	15.0%	14.6%	17.1%	17.3%	18.8%	+1.4%
	サービス	34.0%	34.4%	37.8%	37.6%	36.6%	△1.0%
	レンタカー	42.3%	47.4%	51.2%	50.4%	47.4%	△3.0%
	合計	18.2%	19.4%	21.4%	21.9%	22.0%	+0.1%

【部門別 粗利益構成】

12/3期



【部門別 粗利率】



登録台数減少するも、保有台数は増加

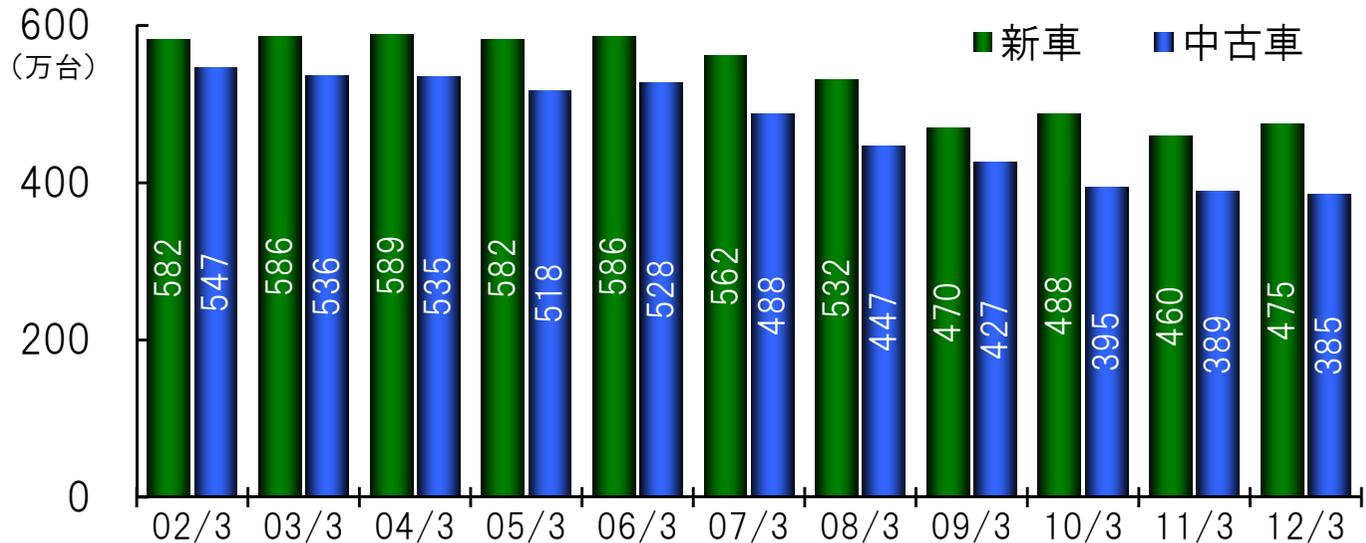
自動車の登録台数は、新車・中古車ともに減少傾向
(過去10年で新車18%中古車30%減)

10/3期、12/3期は、政府の支援策などにより、新車販売の持ち直しが見られるが、長期的には緩やかな減少を想定

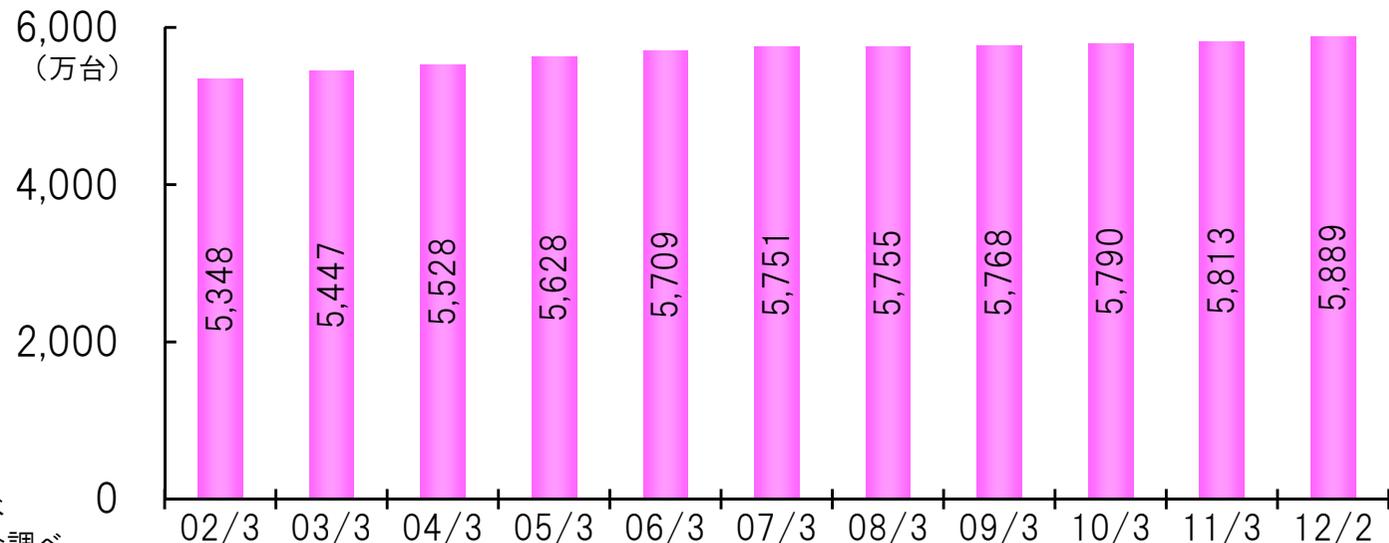
保有台数は、車輛の保有年数が長くなったことなどもあり、02/3期比10%増加

⇒当社収益の約40%を占めるサービス部門は、保有台数を収益源とするストックビジネスであるため、引続き安定的に収益確保の見込

【全国 新車・中古車 登録台数】



【全国 乗用車保有台数】



※ 登録台数は、(社)日本自動車販売協会連合会調べ
 ※ 乗用車保有台数は、(財)自動車検査登録情報協会調べ

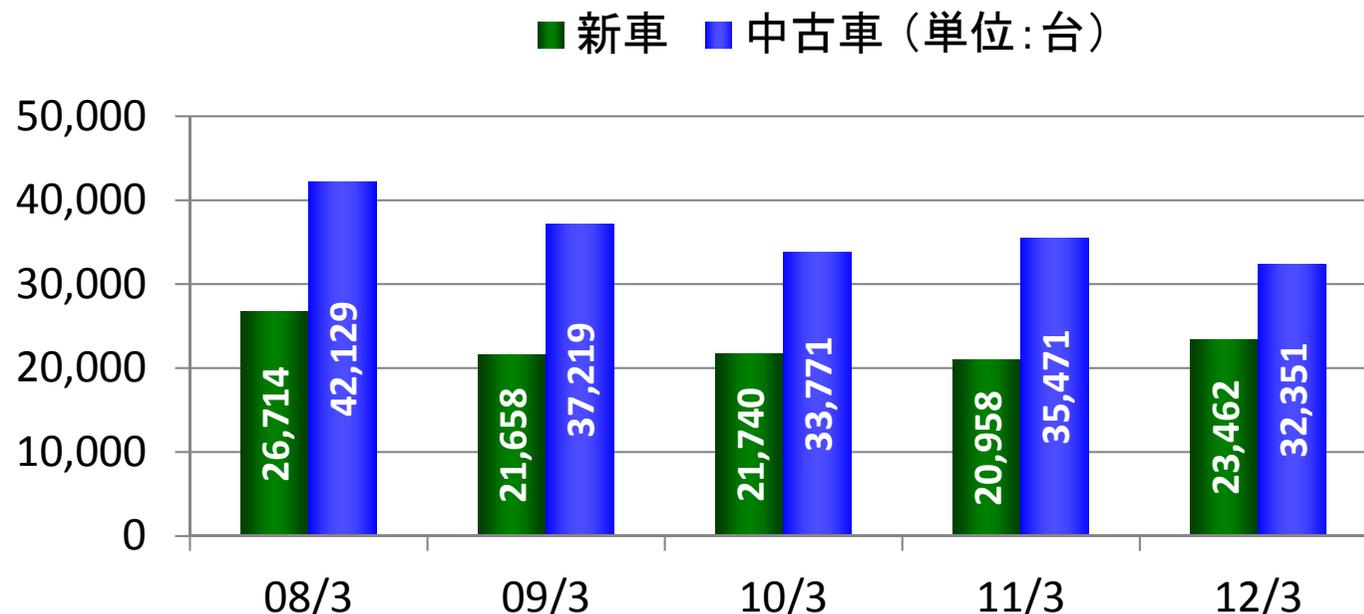
販売台数の減少を収益性の向上でカバー

当社グループの販売台数も国内需要動向に連動し、M&Aが無ければ、長期的には減少傾向

12/3期の新車販売台数は、M&Aやエコカー補助金再開の影響もあり、前年比約12%の増加

12/3期中古車販売台数は、東日本大震災直後に品薄状態が続いたこと等により、前年比約9%の減少

※ 11/3期まで、中古車区分の輸出以外に計上していたフォードライフ中部が取り扱う国産車の新車販売分を12/3期からは、新車区分のその他ディーラーに計上しております。



		(単位:台)					
		08/3	09/3	10/3	11/3	12/3	前期比
新車	ホンダ	5,067	4,623	5,120	4,816	5,501	114.2%
	日産	24,682	16,623	16,359	15,673	16,005	102.1%
	その他ディーラー	185	114	55	85	1,664	1957.6%
	輸入車インポーター	368	298	206	384	292	76.0%
	合計	26,714	21,658	21,740	20,958	23,462	111.9%
中古車	輸出台数	7,414	7,162	7,466	7,373	7,157	97.1%
	輸出以外	34,715	30,057	26,305	28,098	25,194	89.7%
	合計	42,129	37,219	33,771	35,471	32,351	91.2%
自動車販売台数		68,843	58,877	55,511	56,429	55,813	98.9%

基盤収益カバー率を更に改善

基盤収益カバー率

= 新車以外の粗利益 ÷ 販管費
(新車以外の部門の利益で、販管費をどの程度カバーできるかを表す指標)

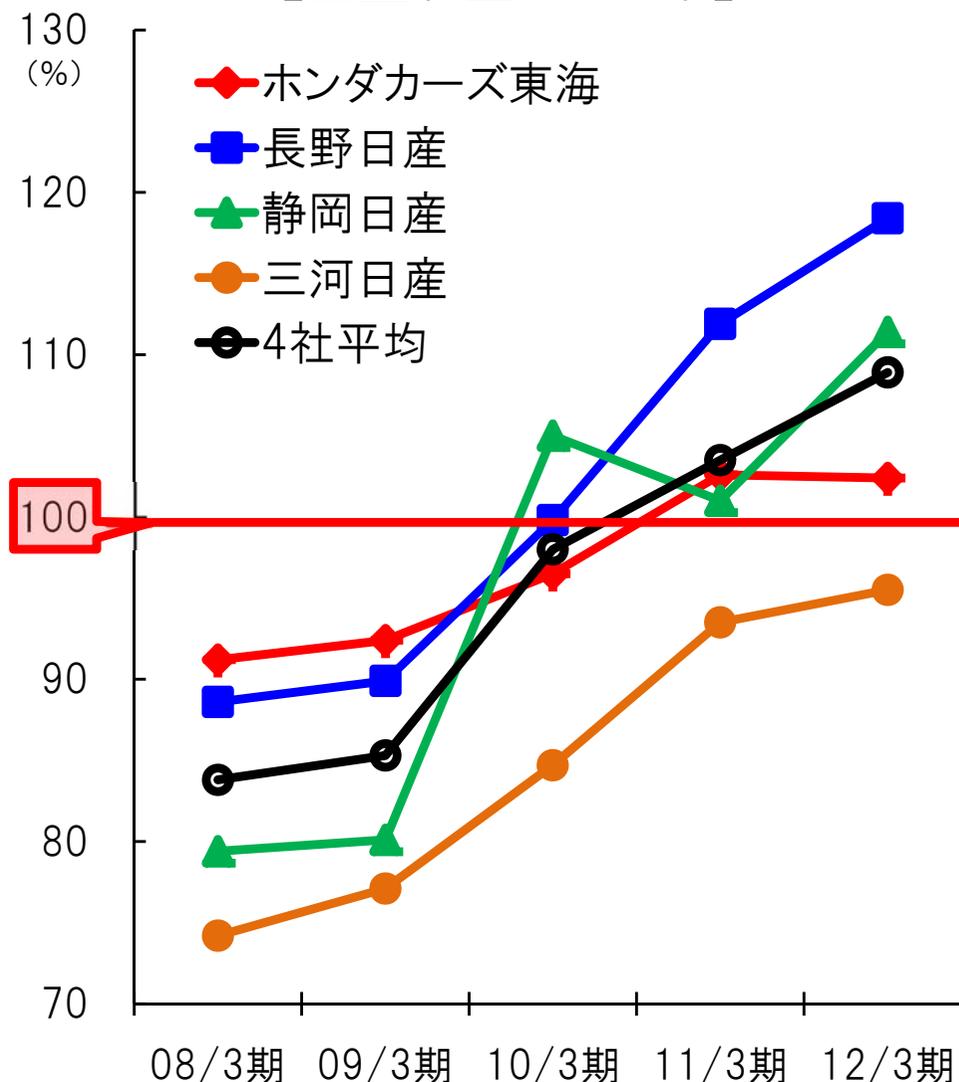
✓100%を超えれば、新車が売れなくても赤字にならない

✓メーカー次第となる新型車の発売サイクル等、外部要因に左右されやすい新車部門以外で、コストを賄う「**新車が売れなくても赤字にならない企業体質**」が更に定着

✓VTグループ主要4社の平均は、**108.9%**

✓主要4社は、ホンダカーズ東海、長野日産自動車、静岡日産自動車、三河日産自動車の4社であり、グループ全体の売上高の79%を占める。

【基盤収益カバー率】

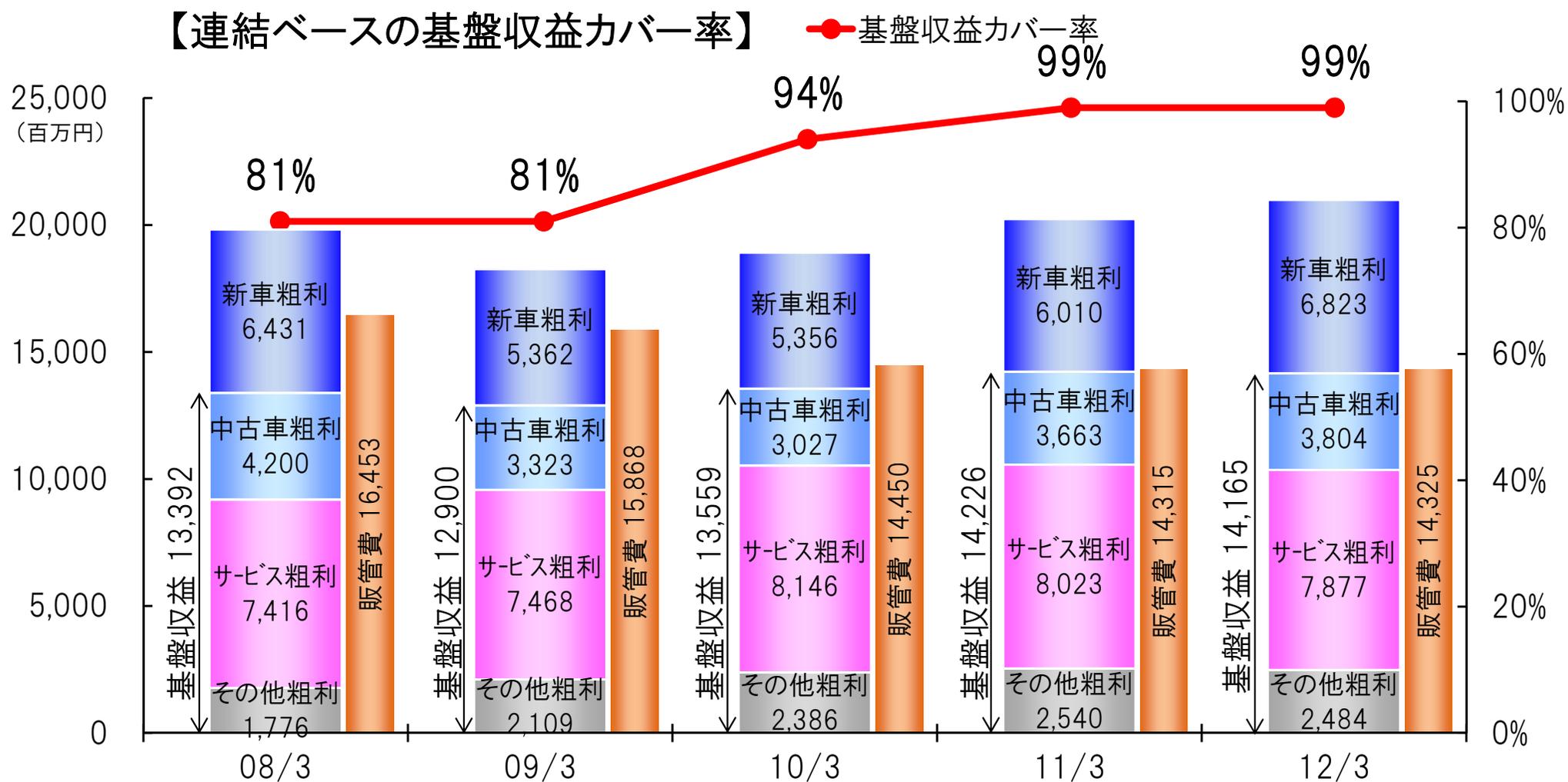


※ 基盤収益カバー率については、連結調整など考慮前の各社個別の決算数値に基づきつつ、一部4社比較の為に修正を行っております。

※ 4社平均は、各社の売上高に応じて、加重平均しております。

「新車販売に依存しない収益体質」

- ✓新車部門以外の粗利益により、販管費のほとんどをカバーできており、赤字になりにくい収益体質を構築(基盤収益カバー率99%)



現預金安定推移

(前期末比+2億円)

純資産の増加

(前期末比+38億円)

・当期純利益 +43億円
 ・配当金の支払 △6億円 等

実質有利子負債の圧縮

ピーク時(09/3期)から
 約150億円(43%)圧縮

前期末から、約29億円
 圧縮

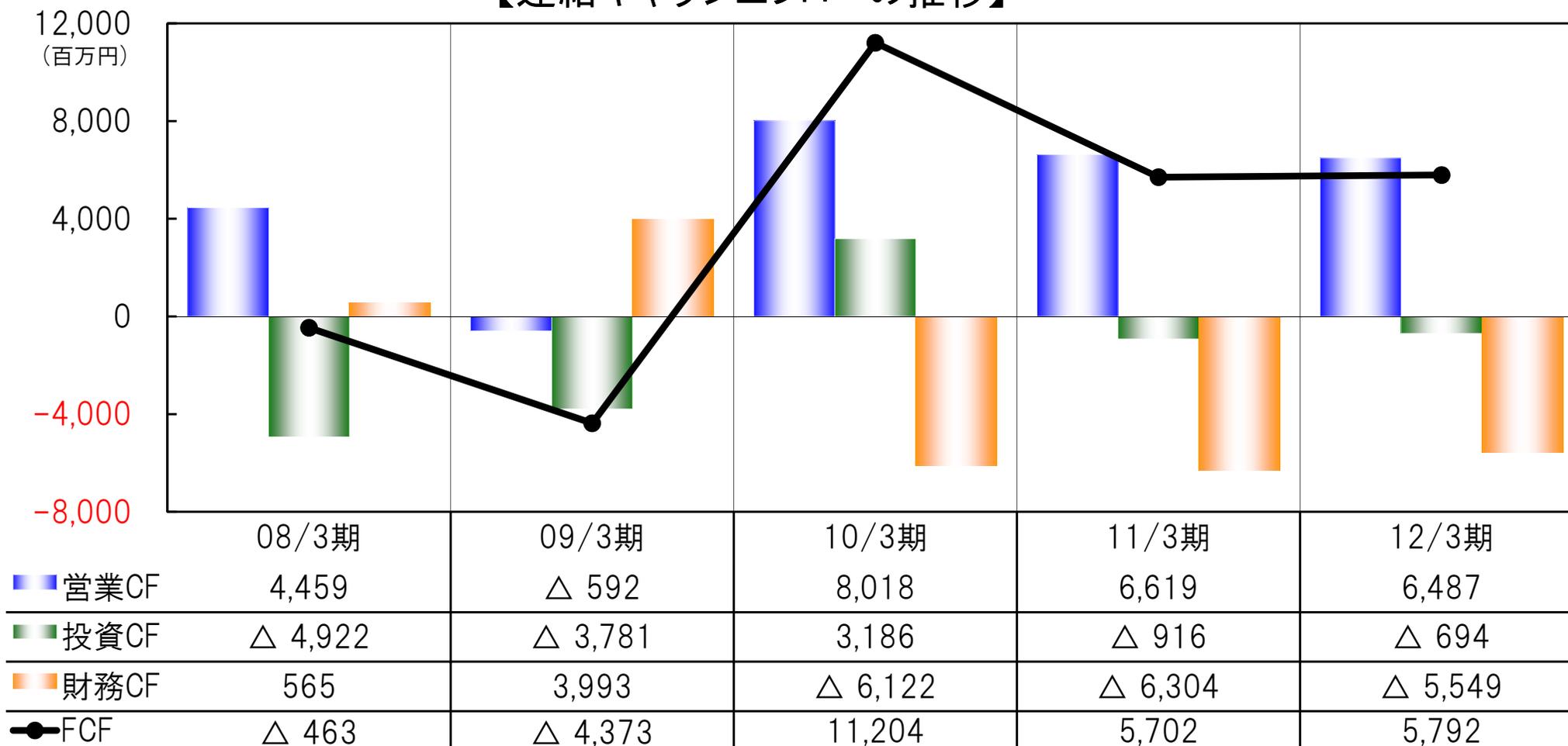
	(単位:百万円)	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3
現金及び預金		2,297	1,908	7,042	6,412	6,639
その他		16,076	14,000	16,110	14,221	19,992
流動資産合計		18,373	15,908	23,152	20,634	26,631
有形固定資産合計		26,521	29,068	25,311	26,667	27,096
無形固定資産合計		14,139	13,315	12,502	11,688	10,926
投資その他の資産合計		8,661	7,712	6,862	6,739	6,947
固定資産合計		49,321	50,096	44,676	45,095	44,970
繰延資産		4	-	-	-	-
資産合計		67,699	66,005	67,829	65,730	71,601
流動負債合計		41,802	44,364	42,893	37,813	41,872
固定負債合計		15,134	13,376	14,446	14,815	12,807
負債合計		56,937	57,741	57,339	52,628	54,680
資本金・剰余金		8,427	7,793	9,760	12,372	16,117
自己株式		△100	△218	△193	△286	△380
株主資本合計		8,327	7,574	9,567	12,086	15,737
その他		2,434	689	922	1,015	1,184
純資産合計		10,762	8,263	10,489	13,101	16,921
負債純資産合計		67,699	66,005	67,829	65,730	71,601
<実質有利子負債>		28,666	34,677	25,876	22,757	19,876

営業CF 64億円

- ✓ 大震災の影響を受けながらも、営業CFは堅調に推移
- ✓ 有利子負債圧縮方針に伴い、財務CFは△55億円

※ FCF(フリーキャッシュフロー) = 営業CF + 投資CF

【連結キャッシュフローの推移】





HONDA

〈愛知県尾張、岐阜県西濃〉

- ・新車 24拠点
- ・中古車 1拠点

新車の納期遅れなど大震災の影響を受けた上半期であったが、メーカーの生産回復に加え、新型車投入等もあり下期に挽回

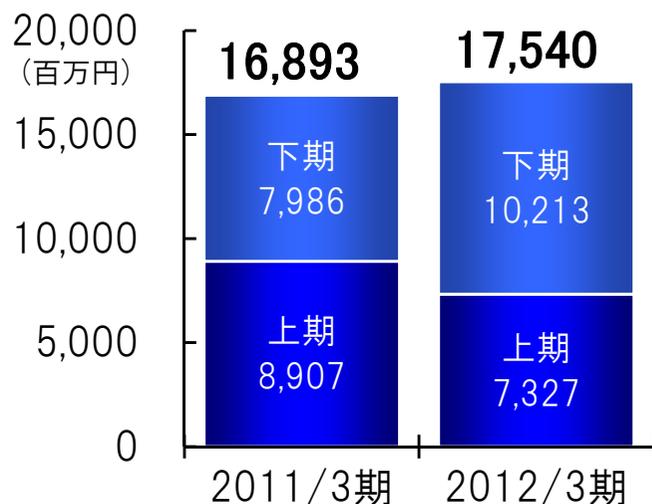
売上高、経常利益ともに過去最高を更新

売上高経常利益率
7.5% (前年同期 6.8%)

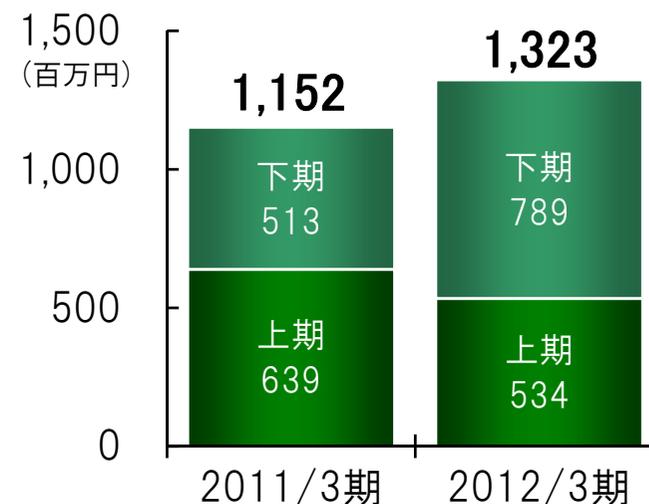
連結売上高に対する構成比
18.3%

上場時の母体企業でもあり、ここで培われた運営ノウハウがグループ傘下の他のディーラーに注入され、収益性強化に寄与

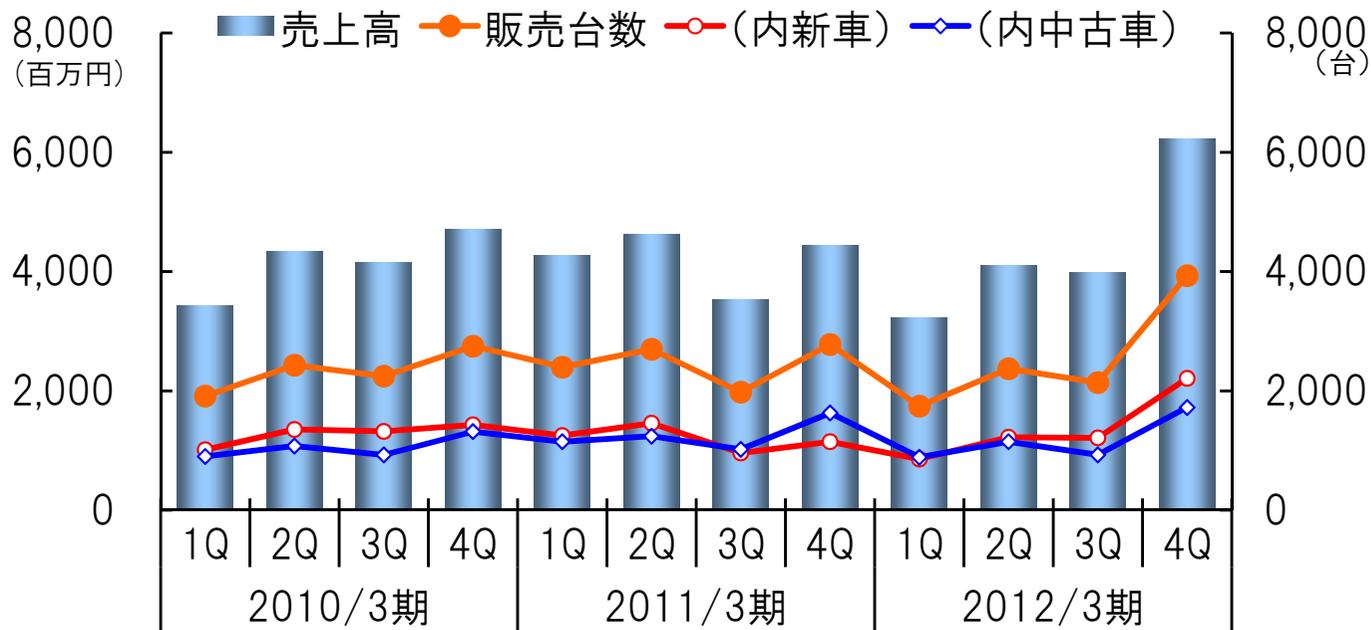
【売上高】



【経常利益】



【売上高及び販売台数】



2012年3月期



6月 フィット シャトル

人気のフィットのワゴンタイプが新登場(6/16)。フィット同様、ハイブリッドモデルもラインナップされる。



10月 フリード ハイブリッド

人気の小型ミニバンフリードに、ハイブリッドモデルが追加(10/28)。



12月 CR-V フルモデルチェンジ

人気のSUV CR-Vが燃費性能を向上して新発売(12/2)



12月 N BOX

軽乗用車「N BOX」(エヌ ボックス)を新発売(12/16)



2013年3月期

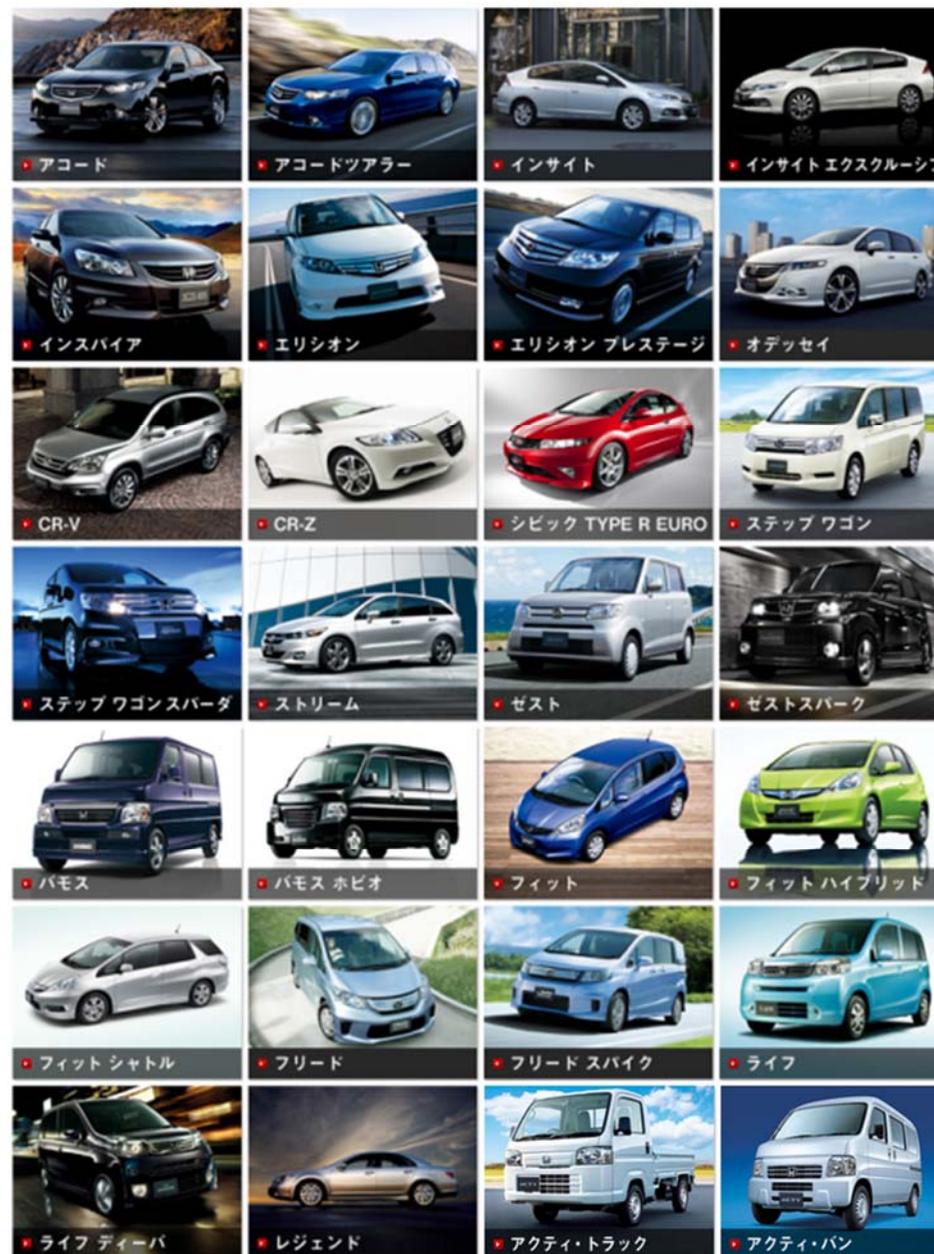
4月 ストリーム マイナーチェンジ

コンパクトミニバンストリームをマイナーチェンジして発売(4/5)



4月 ステップワゴン/ステップワゴンスパルダ マイナーチェンジ

クラストップの低燃費でマイナーチェンジして新発売(4/12)





<長野県全域>

- ・新車 31拠点
- ・中古車 5拠点

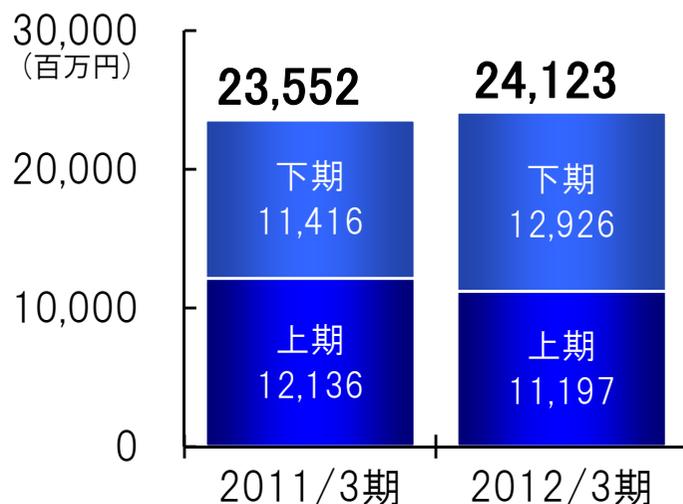
大震災の影響は、比較的早期に回復

エコカー補助金による需要増に加え、収益力強化が進んだことにより、増収増益で、過去最高益を更新

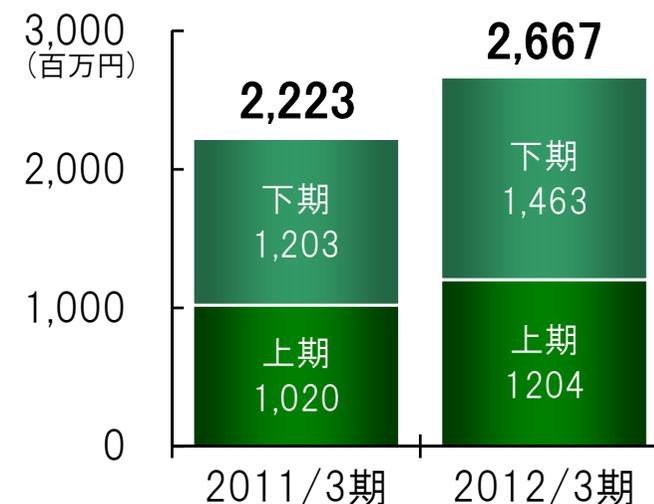
売上高経常利益率
11.1% (前年同期 9.4%)

連結売上高に対する構成比
25.1%

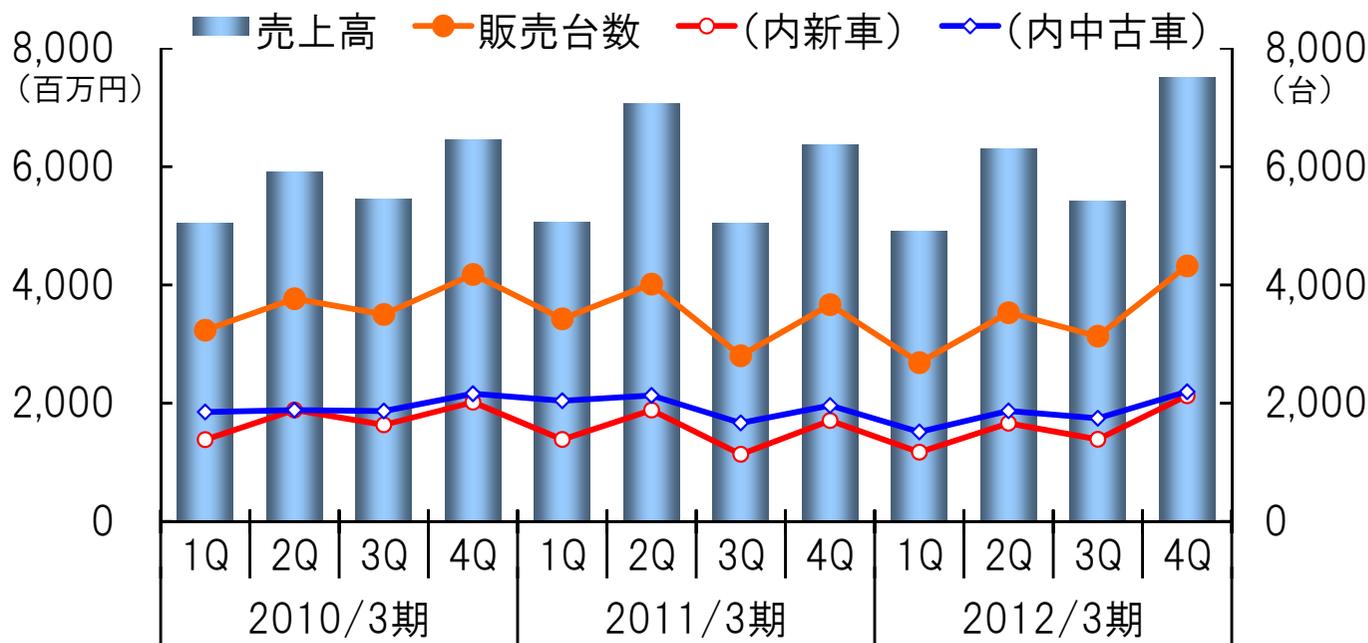
【売上高】



【経常利益】



【売上高及び販売台数】





<静岡県中東部>

- ・新車 25拠点
- ・中古車 4拠点

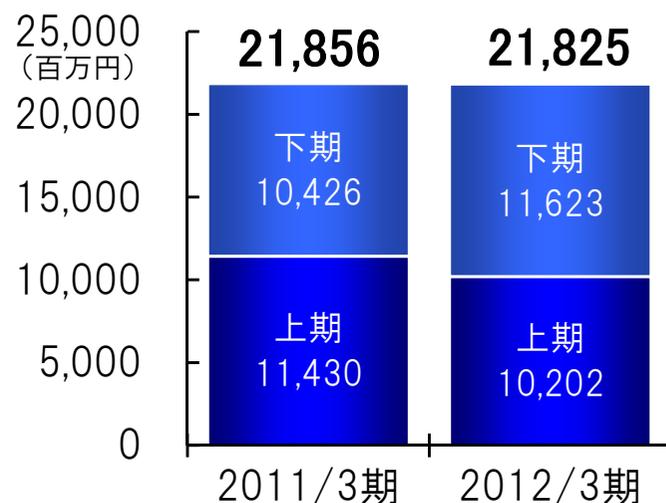
大震災の影響は、比較的早期に回復

売上横ばいながら、収益性の向上により、過去最高益を更新

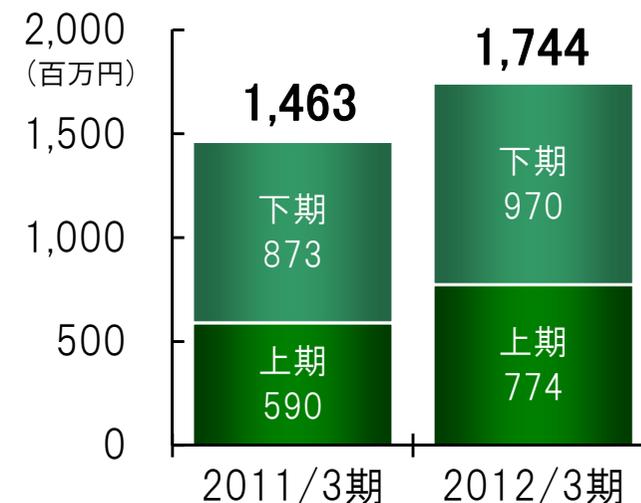
売上高経常利益率
8.0% (前年同期 6.7%)

連結売上高に対する構成比
22.7%

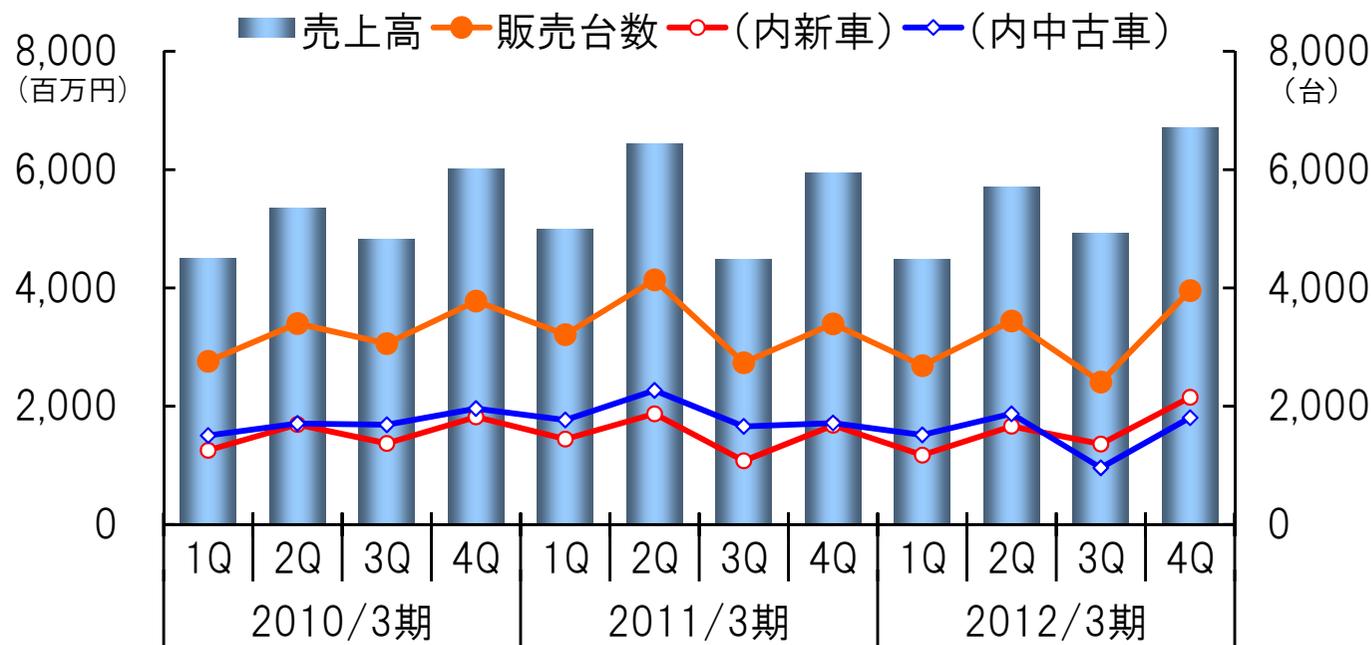
【売上高】



【経常利益】



【売上高及び販売台数】





〈愛知県西三河〉

- ・新車 11拠点
- ・中古車 2拠点

大震災の影響は、比較的早期に回復

売上微減ながら、収益性の向上により、過去最高益を更新

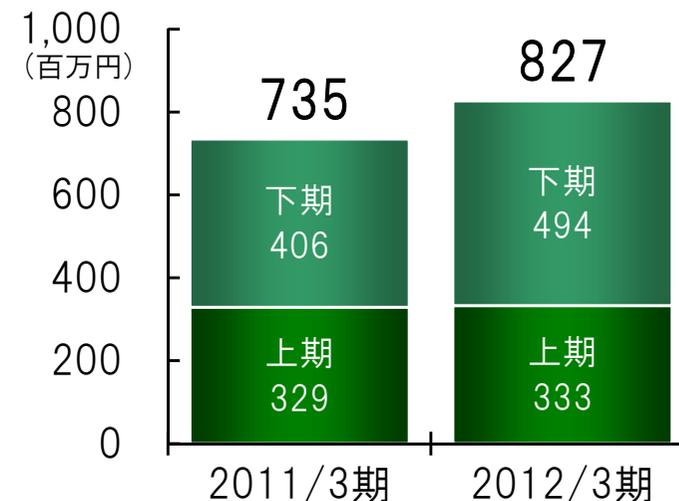
売上高経常利益率
6.5% (前年同期 5.7%)

連結売上高に対する構成比
13.2%

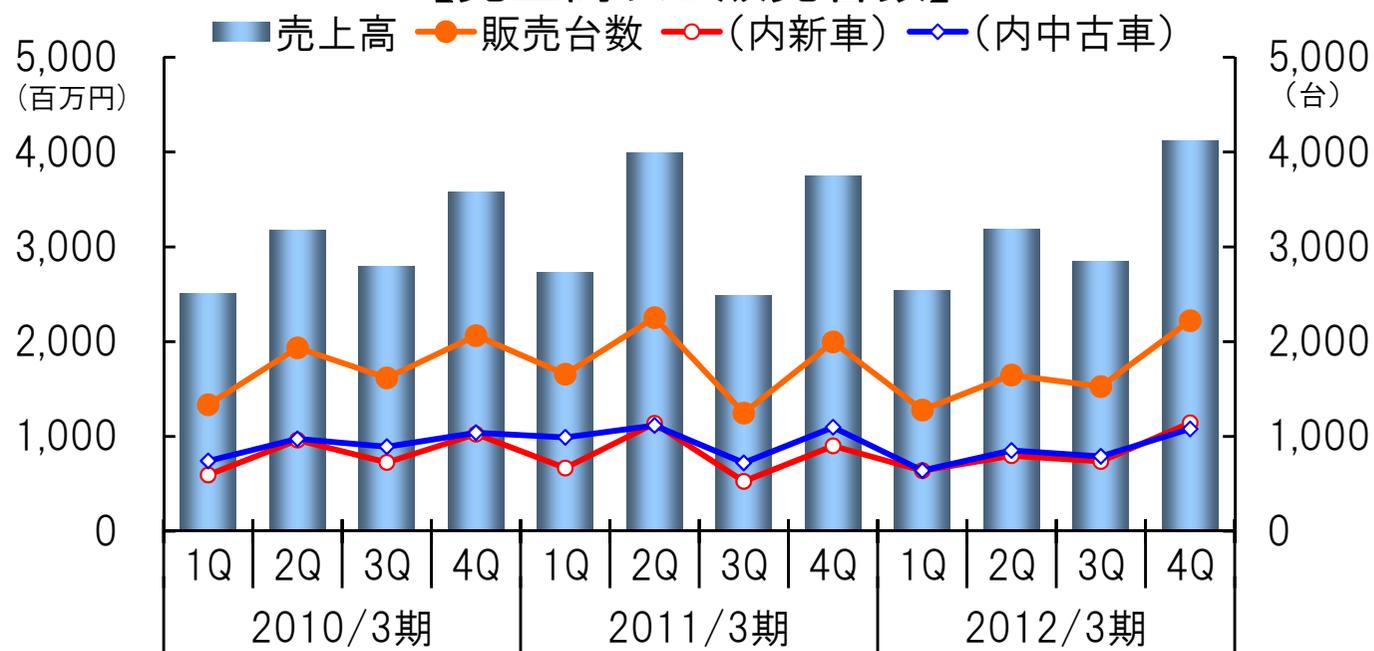
【売上高】



【経常利益】



【売上高及び販売台数】



2012年3月期

6月 ラフェスタ ハイウェイスター
マツダプレマシーのOEMモデルが
新登場(6/15)



日産リーフ



ジューク



ティーダ



ノート



キューブ



マーチ



2013年3月期

5月 シーマ
高級車シーマがハイブ
リッドを搭載した新型車
を発売開始(5/21)



ルークス



モコ



オッティ



キックス



クリッパーリオ



エルブランド



セレナ



ラフェスタ
ハイウェイスター



ラフェスタ JOY



NV200バネット

5月 モコ
燃費を向上させた
モコが新登場(5/15)



GT-R



スカイライン
クーペ



フェアレディZ



スカイライン
クロスオーバー



ムラーノ

6月 キャラバン フルモデルチェンジ予定



エクストレイル



デュアリス



ジューク



ウイングロード



ラティオ

8月 セレナ モデルチェンジし、ハイブリッドを追加予定



フーガ ハイブリッド



フーガ



スカイライン



ティアナ



シルフィ

	取扱いブランド	店舗展開	連結売上高に対する構成比
フォードライフ中部	フォード  スズキ 	愛知県・岐阜県・三重県 新車7店舗、中古車6店舗	3.5%
フォードの新車販売を行いつつ、軽自動車を中心としたサブディーラーを展開			
VTインターナショナル	ジャガー/ランドローバー  	大阪1店舗	0.8%
主力車種「ジャガー X J」のニューモデルが供給遅延			
エルシーアイ	ロータス 	直営2拠点 代理店17拠点	2.1%
受注はあるものの、メーカーの部品遅れ等により、売上になっていない			
ピーシーアイ	ケータハム  SAAB 	代理店20拠点	0.4%
SAABメーカーの問題により、先行きは不透明			

車種別 [新車販売台数]

2012年3月期 実績

(単位:台)

ホンダ車 		
1	フィット	817
2	フィット ハイブリッド	700
3	フィットシャトル ハイブリッド	653
4	NBOX	642
5	ステップワゴン	513
6	ライフ	405
7	フリード	357
8	フリード ハイブリッド	247
9	フリード スパイク	227
10	オデッセイ	133
11	その他	1,054
合計		5,501

■は軽自動車

日産車 		
1	セレナ	2,517
2	モコ	2,074
3	ルークス	1,523
4	マーチ	1,249
5	ノート	1,172
6	ジューク	1,138
7	キューブ	1,114
8	エクストレイル	949
9	エルグランド	565
10	ティーダ	461
11	その他	3,243
合計		16,005

■は軽自動車

外国車・その他			
1	JIMNNY		94
2	SWIFT		86
3	SX-4		85
4	Elise		68
5	ExigeS		50
6	Peugeot 207		46
7	Peugeot 107		43
8	Fiat 500		41
9	EVORA 2+2		37
10	EliseR		36
11	その他		1,370
合計			1,956



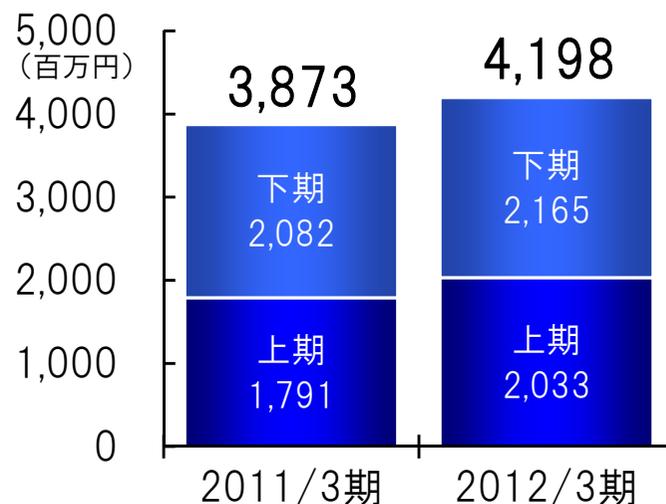
増収増益。

売上高経常利益率
6.2% (前年同期 5.7%)

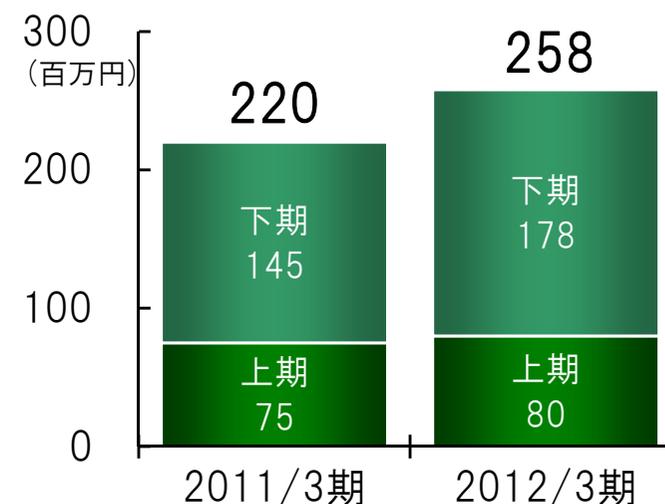
連結売上高に対する構成比
4.4%

高額車両の販売増加により販売単価が向上し、売上高が増加。

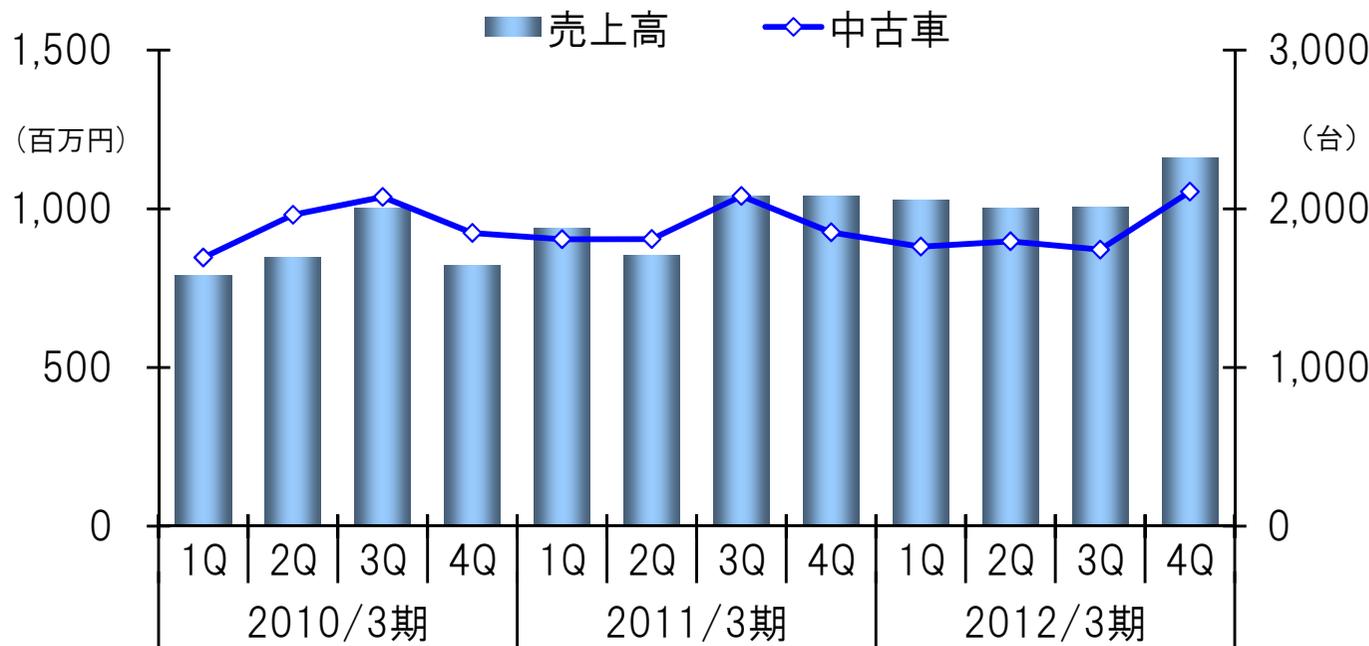
【売上高】



【経常利益】



【売上高及び販売台数】





直営店 27店舗
 FC店 67店舗
 計 94店舗

(2012年3月末時点)

売上高、経常利益ともに過去最高を更新

売上高経常利益率
13.9% (前年同期 14.8%)

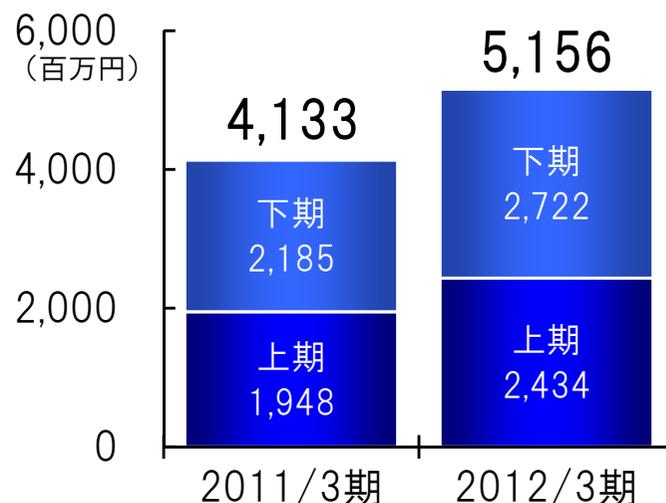
連結売上高に対する構成比
 5.4%

FCの新規開拓に注力し、直営、FC
 両面で全国展開を目指す

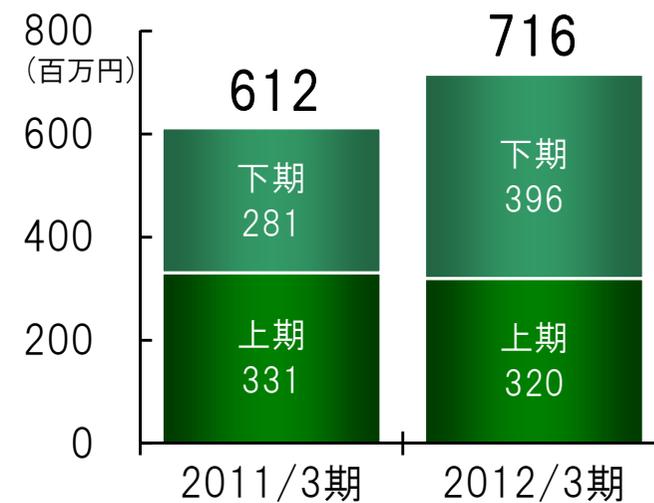
〈2012年3月期に新規出店したFC店舗〉

上半期	4月	灘店
	7月	佐賀店、諫早店、長崎大橋店、長崎宝町店
	9月	滋賀守山店
下半期	11月	弘前店、十和田店、五所川原店、下北店
	1月	広島インター店、佐世保店、あわら湯のまち駅前店

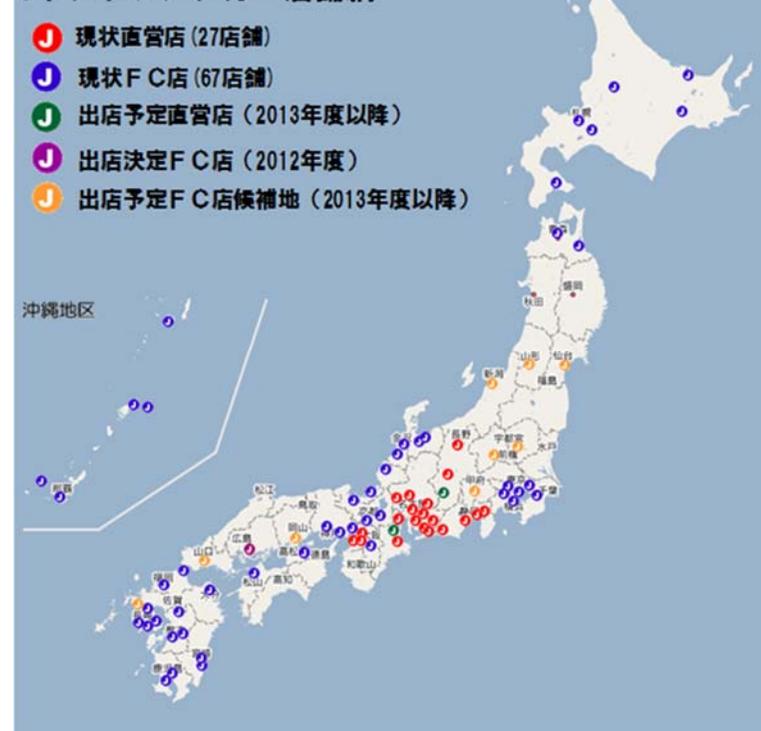
【売上高】



【経常利益】



Jネットレンタカー店舗網



売上高、営業利益、経常利益は、過去最高を更新見込

既存会社も堅調に推移し、更に2012年4月に子会社化した自動車ディーラー2社が増収増益に寄与。

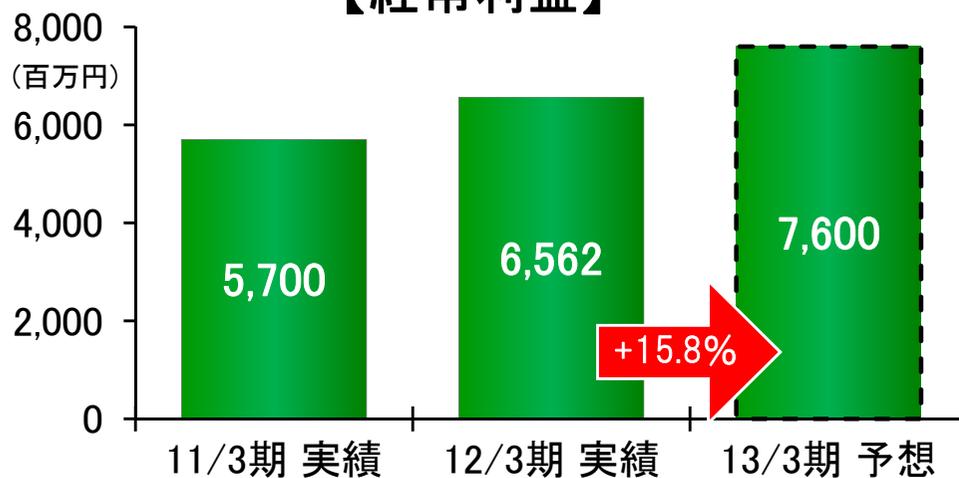
【売上高】



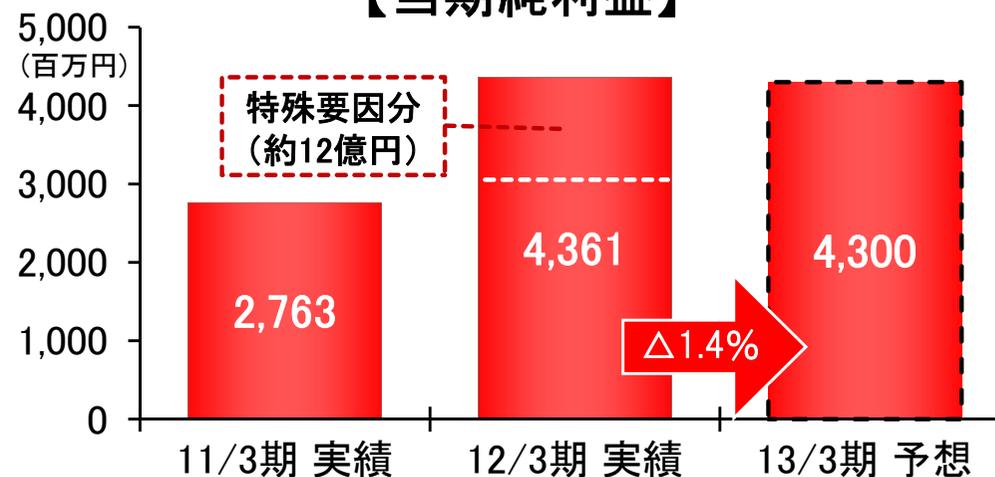
【営業利益】



【経常利益】



【当期純利益】



●2012年4月2日に以下の2社をM&Aし、連結子会社化

(株)日産サティオ埼玉

埼玉県の東南部において、日産系の新車ディーラー17店舗と中古車4店舗を運営

M&A前の直前期の売上高は、約109億円(新設分割前の旧(株)日産サティオ埼玉の実績)

4月2日に1,500円で株式取得後、財務基盤の安定化を図るため、15億円の増資を実施

CCR MOTOR CO.LTD. (M&A時の商号は、COLT CAR RETAIL LIMITED)

英国のロンドン及びイングランド南西部において、三菱自動車の新車ディーラーを11店舗運営

M&A前の直前期の売り上げは、約105億円(15か月決算)

●2社とも2013年3月期の連結業績に12ヵ月分がフル寄与

業績予想には、両社合わせて、売上高約200億円、経常利益約5億円を見込む

グループの自動車販売拠点数

(2012年4月2日現在)

	集計区分	会社名	ブランド別	店舗数			代理店数
				新車	中古車	合計	
国内	ホンダ	(株)ホンダカーズ東海	ホンダ	24	1	25	—
	日産	長野日産自動車(株)	日産	31	5	36	—
		静岡日産自動車(株)	日産	25	4	29	—
		三河日産自動車(株)	日産	11	2	13	—
		(株)日産サテオ埼玉	日産	17	4	21	—
	その他のディーラー	(株)フォードライフ中部	スズキ	4	6	13	—
			フォード	3			
		VTインターナショナル(株)	ジャガー/ランドローバー	1		1	—
	輸入車 インポーター	ピーシーアイ(株)	SAAB				13
			ケータハム				20
エルシーアイ(株)		ロータス	2		2	17	
レンタカー	J-netレンタリース(株)	—		1	1	—	
海外	その他のディーラー	TAA	フィアット/アルファロメオ	1		2	—
			プジョー	1			—
		SAA	スズキ	3		3	—
		CCR	三菱	11		11	—
				134	23	157	

※青字は、12/3期にM&Aした子会社 赤字は、13/3期にM&Aした子会社

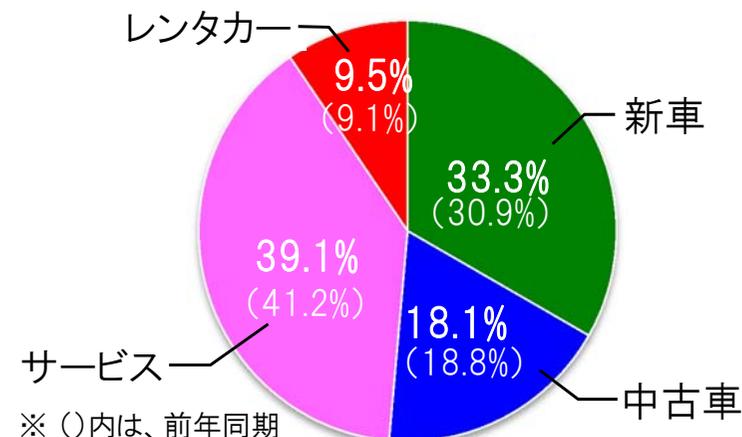
自動車セグメント 部門別損益計画

M&A効果もあり、新車・中古車・サービス部門の大幅伸長を見込む

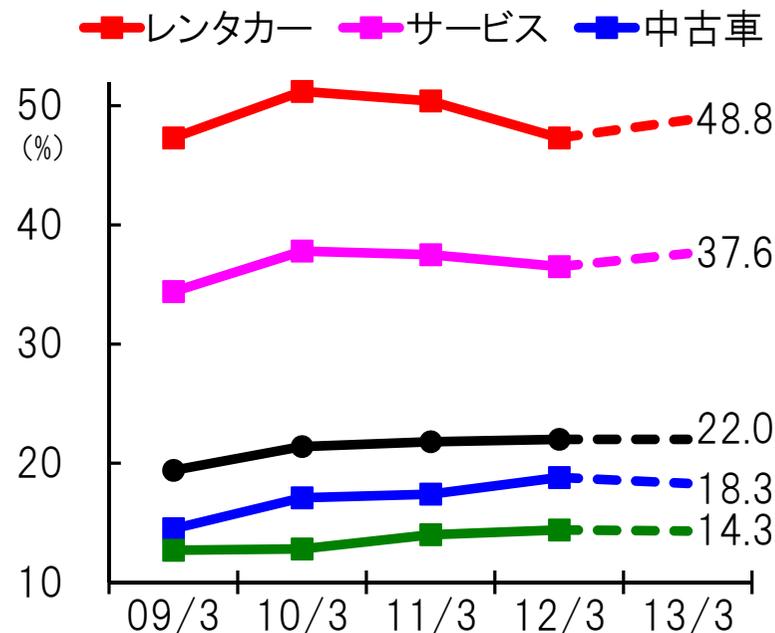
✓新会社の収益性の改善を急ぎ、自動車セグメントの粗利率は、前期並みを見込む

(単位:百万円)		09/3	10/3	11/3	12/3	13/3 計画	前期比
売上高	新車	42,005	41,686	42,937	47,252	59,124	125.1%
	中古車	22,833	17,656	21,095	20,284	25,178	124.1%
	サービス	21,691	21,545	21,375	21,547	26,416	122.6%
	レンタカー	2,323	2,792	3,505	4,426	4,966	112.2%
	合計	88,853	83,681	88,914	93,510	115,687	123.7%
粗利益	新車	5,362	5,356	6,010	6,823	8,456	123.9%
	中古車	3,323	3,027	3,663	3,804	4,610	121.2%
	サービス	7,468	8,146	8,023	7,877	9,925	126.0%
	レンタカー	1,101	1,429	1,766	2,096	2,421	115.5%
	合計	17,256	17,959	19,469	20,601	25,414	123.4%
粗利率	新車	12.8%	12.8%	14.0%	14.4%	14.3%	-0.1%
	中古車	14.6%	17.1%	17.3%	18.8%	18.3%	-0.5%
	サービス	34.4%	37.8%	37.5%	36.5%	37.6%	+1.1%
	レンタカー	47.4%	51.2%	50.4%	47.3%	48.8%	+1.5%
	合計	19.4%	21.4%	21.9%	22.0%	22.0%	0.0%

【部門別 粗利益構成】
13/3期計画



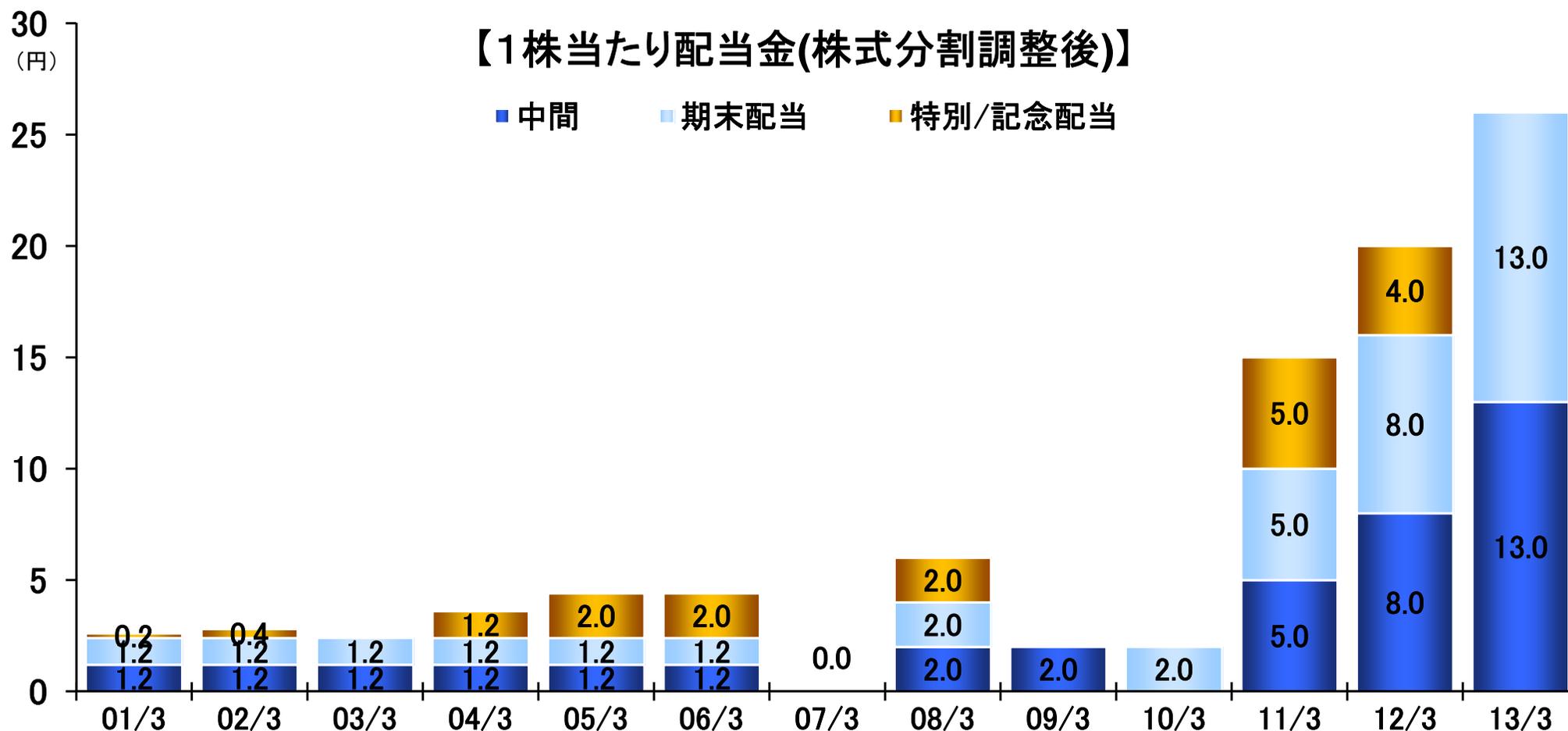
【部門別 粗利率】



2013年3月期は、年間配当26円を予想

2012年3月期は、年間配当**20円**(前年比+5円)、連結配当性向**15.8%**

2013年3月期は、年間配当**26円**(前年比+6円)、連結配当性向**21.0%**の見込
 今後も連結配当性向20%を目標に、業績に応じた配当を継続的に実施する方針



●売上高経常利益率 8%以上

- ✓ 2012年3月期の売上高経常利益率6.8%
- ✓ 当社グループ内で最も高い収益性を誇る長野日産自動車(経常利益率11.1%)をベンチマークに、グループ全社の収益性向上を図る
- ✓ M&Aにより子会社化した新会社の収益力を早期に向上させること、中古車輸出事業とのシナジー創出、レンタカー事業の全国展開等がポイント

●自己資本比率 30%以上

- ✓ 2012年3月期末の自己資本比率22.3%
- ✓ 自己資本蓄積のための収益性向上策は、上記のとおり
- ✓ 投資効率を重視したM&Aにより、事業拡大と有利子負債の圧縮を営業キャッシュフローの範囲内で、両立させる

高い収益効率の実現により、事業規模の拡大と財務の安定性を両立させ、安定成長を目指す

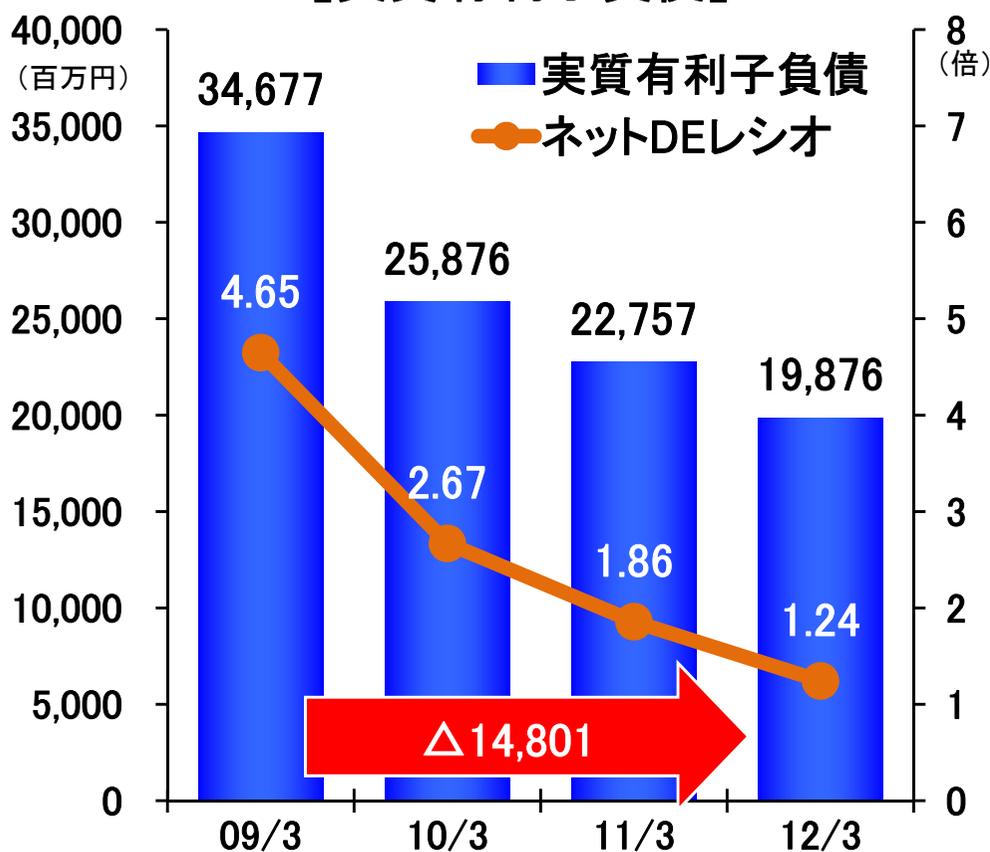
1. 実質有利子負債の削減

09/3期末からの3年間で実質有利子負債約**148億円**を削減

※実質有利子負債＝有利子負債－現預金

※ネットDEレシオ＝実質有利子負債÷自己資本
(実質負債資本倍率)

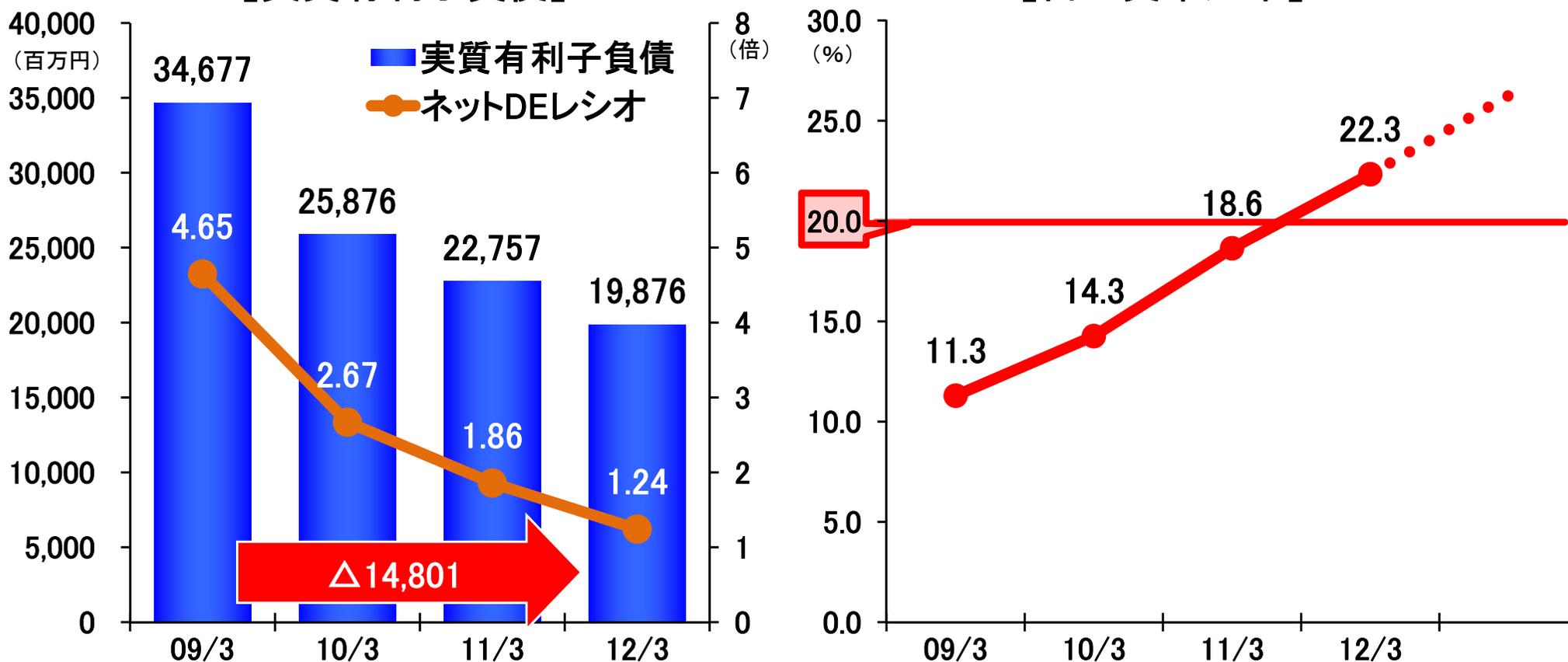
【実質有利子負債】



2. 自己資本の充実

12/3期末までに自己資本比率を**20%**以上に改善する目標に対し、12/3期末段階で**22.3%**を達成、今後は中期目標**30%**を目指す

【自己資本比率】



安定成長の実現に向けて

キャッシュフローの範囲内で継続的にM&Aに取り組み、『事業規模の拡大』、『収益性の向上』、『財務体質の強化』のすべてのテーマをバランスさせた成長シナリオを目指す

